

このヒュツテは50年前(1961年;S36年12月竣工)、我々の先輩諸兄が「手造り」で建てました。その後2009年に屋外テラスの増設と改修を致しました。ダルマストーブを囲み、酒を酌み交わし「山や人生を語り合いました。この中から沢山の南米・ヒマラヤを指す「パイオニヤー」が生まれました。

氷ノ山は兵庫県第一の山(標高1510m)で、豪雪地に位置しております。ヒュツテは頂上から東南東、徒歩30分(1340m)の杉林の中の2階建です。最近林道が整備され、ハイキング(大段ヶ平;オオダマナル)から徒歩1時間です。登山道も整備され、登山者も増えております。春の「山菜狩」、夏の「ハイキング」、秋の「紅葉狩や月見」など満喫いただけます。冬のスキーシーズンは「白銀の世界」です。麓の鉢高原・氷ノ山国際 ダレンドでスキーを楽しみ、好天日に我々は、このヒュツテで「山スキー」を楽しんでおります。

電気もガスもありませんが、LEDランプの下、ストーブを囲み「自炊山小屋生活」を体験いただけます。食料持参の無人山小屋ですので、山岳部員や、山岳会員にお声をかけていただければご案内いたします。

現在「竣工50周年事業」として 大学からの援助も頂き「トイレの整備、居住性の改善」を図っております。広く山を愛する皆様のお越しをお待ちしております。

収容人員;30人(寝袋;シュラフ 持参)
費用;1泊 1000円(薪、小屋整備協力金)

我々の活動状況は

<http://www.acku.net>

ヒュツテの詳細は

<http://acku.net/Senbonsugi/senbonsugihutte.html>

を御覧ください

